

平成 28 年度

「地域と教育機関の連携による女性の学びを  
支援する保育環境の在り方の検討」事業

報 告 書

平成 2 9 年 3 月

文部科学省生涯学習政策局

男女共同参画学習課

# 目 次

はじめに .....	1
「地域と教育機関の連携による女性の学びを支援する保育環境の在り方の検討」 事業の概要 .....	2
女性の学びを支援する保育環境の在り方検討会について .....	3
委託事業の結果概要	
Ⅰ 大学等における保育の仕組みづくりのモデル構築に係る実証的検証	
1. 地域の男女共同参画社会実現を先導する学内保育所設置モデルの実証的検証 国立大学法人岩手大学（岩手県） .....	6
2. 女性が子育てと学業・研究を安心して行える保育環境整備に関する研究 宮城学院女子大学（宮城県） .....	9
3. 子育て女性の学びなおし支援のための保育サービスあり方検証を踏まえた地域 企業との連携モデル構築 愛知江南短期大学（愛知県） .....	11
4. 都会地域における複数大学連携による女性の学び支援を軸とした保育サービス の検証 国立大学法人神戸大学（兵庫県） .....	14
5. 一時保育環境を整備するためのモデル構築の検証事業 国立大学法人山口大学（山口県） .....	16
実証的検証実施大学へのヒアリングを通じて .....	19
Ⅱ 大学等における保育についての先進事例に関する調査研究	
1. 調査目的及び調査内容等 .....	22
2. 大学等における保育環境整備に関するアンケート調査結果	
(1) 保育所（施設）の設置状況 .....	25
(2) 「保育所（施設）を設置している」とする大学等の保育支援概況 .....	26
(3) 「保育所（施設）を設置せず外部保育組織を活用」する大学等の保育支援概況 ..	33
(4) 「保育所（施設）の設置、外部保育組織活用、いずれも実施していない」と回答 のあった大学等の保育支援概況 .....	36
3. 大学等における保育環境整備に関する特徴的な事例ヒアリング結果	
A 宇都宮大学（本部所在地：栃木県宇都宮市） .....	38
B お茶の水女子大学（本部所在地：東京都文京区） .....	40
C 東京海洋大学（本部所在地：東京都港区） .....	42
D 東京工業大学（本部所在地：東京都大田区） .....	44
E 東京学芸大学（本部所在地：東京都小金井市） .....	46
F 横浜国立大学（本部所在地：神奈川県横浜市） .....	48
G 静岡大学（本部所在地：静岡県静岡市） .....	50
H 奈良女子大学（本部所在地：奈良県奈良市） .....	52
I 首都大学東京（本部所在地：東京都八王子市） .....	54
J 京都造形芸術大学（本部所在地：京都府京都市） .....	56
K 環太平洋大学短期大学部（本部所在地：愛媛県宇和島市） .....	58
「大学等における保育についての先進事例に関する調査研究」を通じて .....	60
今後に向けて .....	62
参考資料	
1. 大学等における保育についての先進事例に関する調査研究 アンケート調査票 .....	64
2. 大学等における保育についての先進事例に関する調査研究 アンケート調査 集計票 .....	68
3. 委託要綱 .....	73

## はじめに

文部科学省男女共同参画学習課では、平成 28 年度より、女性が出産や育児等と学びを両立できる環境の整備の推進を図り、学びを通じた女性の活躍を促進するため、「地域と教育機関の連携による女性の学びを支援する保育環境の在り方の検討」事業を実施しました。

地域における一層の女性の活躍の促進のため、是非とも皆さまに本報告書をご覧いただき、活用いただければ幸いです。

文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課

## 「地域と教育機関の連携による女性の学びを支援する保育環境の在り方の検討」事業の概要

### 1. 事業の趣旨

学びを通じた女性の活躍を促進するためには、女性が出産や育児等と学びを両立できる環境の整備が必要不可欠です。しかしながら、大学等における保育所の整備は十分に進んでおらず、学生の受入れや学業・研究の時間に応じた一時保育等の多様なニーズに応えられていない現状があります。

一方、地方自治体においては待機児童の解消が課題となっている地域もあり、保育所の設置場所の確保について困難を抱えている場合があります。

大学等における保育環境整備の課題については、そうした自治体等と情報を共有することが必要ですが、保育環境についての双方の連携は十分であるとは言い難い状況であると考えられます。

このため、大学等の教育・研究機関において、女性が子育てと学業・研究を安心して行うことができるよう、大学等と地域の双方にとって有用な保育施設や保育サービスの提供について関係主体と連携して検討するとともに、調査研究や実証的検証を通じて、先進事例の課題やグッド・プラクティスを把握し、地域と連携した大学等の教育機関における保育環境整備の仕組みづくりのモデルを構築・普及することにより、女性の学びを支援する保育環境の充実を図ることを目的として本事業を実施しました。

### 2. 事業の内容

本事業では、「女性の学びを支援する保育環境の在り方検討会」を設置し、そのもとで主に以下の2つの取組を実施しました。

#### (1) 大学等における保育の仕組みづくりのモデル構築に係る実証的検証

大学等における地域と連携した保育所の設置や、新たな保育サービスの実施に向けて、どのような課題があるのかを実証的に検証し、大学等における保育環境の整備を推進するためのモデルの構築を図る。

#### (2) 大学等における保育についての先進事例に関する調査研究

大学等の教育・研究機関における常時保育、一時保育について調査を行い、先進事例における課題やグッド・プラクティスを収集・把握する。

平成28年6月23日  
生涯学習政策局長決定

## 女性の学びを支援する保育環境の在り方検討会について

### 1. 趣旨

「女性活躍加速のための重点方針 2016」（平成28年5月20日すべての女性が輝く社会づくり本部決定）において、「大学等において女性が子育てをしながら学習・研究しやすい環境を整備するため、大学と地方公共団体等が連携した保育施設や保育サービスの提供に関する先進事例の把握や実証的検証等を通じて、大学等における保育環境整備の仕組みづくりのモデルを構築し、全国に普及させるとともに、学びから就労への円滑な移行など、保育環境整備とキャリア形成支援の一体的な推進等について検討する」こととされている。

このため、文部科学省では「地域と教育機関の連携による女性の学びを支援する保育環境の在り方の検討」事業において、女性の学びを支援するため、大学等で保育サービスを実施している先進事例の課題や、地域と連携した保育のグッド・プラクティス等について議論し、大学等の教育・研究機関における保育環境の在り方について検討するため、「女性の学びを支援する保育環境の在り方検討会」を設置する。

### 2. 実施事項

- (1) 大学等の教育・研究機関における保育環境の在り方に関すること
- (2) 「地域と教育機関の連携による女性の学びを支援する保育環境の在り方の検討」事業に関すること
- (3) その他

### 3. 実施方法

本会議は別紙の有識者等で構成し、2に掲げる事項について検討等を行うものとする。

### 4. 実施期間

平成28年6月23日から平成29年3月31日までとする。

### 5. 庶務

本会議の庶務は、生涯学習政策局男女共同参画学習課において処理する。

女性の学びを支援する保育環境の在り方検討会

鈴木 みゆき 独立行政法人国立青少年教育振興機構理事  
和洋女子大学教授

船橋 恵子 静岡大学名誉教授

松田 恵示 東京学芸大学副学長

三角 幸三 NPO 法人チェンジライフ熊本理事

山岸 達生 静岡県くらし・環境部県民生活局  
男女共同参画課 専門監

内閣府 子ども・子育て本部参事官（子ども・子育て支援担当）

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局保育課

<オブザーバー>

中野 洋恵 国立女性教育会館研究国際室長・主任研究員